

現状と課題(問題点)

庄川水記念公園再整備を考える会の総括

公園全体

- ・最初にランドデザインがあって公園全体の整備をしたものではなく、継ぎ足しで公園・施設整備をしていったことから、全体として複雑な公園になっている。
- ・生活道路が公園の真ん中を走っており、公園が分断されている。
- ・美術館方面への階段を上っていくのが大変(起伏がある点は良いが、高台との段差をもう少し低く)。同じ敷地でありながら、別々の公園であるかのように感じる。
- ・公園全体が回遊できない。また、スロープがない。
- ・全体を一望できず、イメージがつかみにくい。
- ・目玉的要素がない。
- ・公園全体の一体感がないように思える。
- ・山・川・温泉などの自然・立地環境が活かされていない。
- ・公園への誘導看板に施設の名称の記載がなく、PR活動がうまくいっていない。
- ・「親水」というテーマなのに飲める水がないのは矛盾している。
- ・水とふれあう所、体感する場所がない。「水」がテーマという感じがしない。



公園内の移動は階段が主でスロープがない



滝があるのにそこまで行かないと分からない



芝生広場・ちびっこ広場・親水広場

- ・授乳室やおむつ交換台、多目的トイレや小さな子ども用のトイレがない。
- ・ベンチや四阿が不足している。
- ・芝生広場とちびっこ広場が離れており利便性が悪い。
- ・すべり台があるのに高台に行かないと気付かない。
- ・遊具が少ない。
- ・噴水や親水広場など「親水」につながる施設に、ダム水を使用しているため、衛生上好ましくない。
- ・親水広場に足を入れたいと思わない。
- ・親水広場で遊ぶには年齢層が高い。年長、年中でも危険という感じがする。



↑遊具が少ない
ちびっこ広場



汚れが早い →
親水広場

庄川ウッドプラザ

- ・老朽化している。
- ・ウッドプラザ前の水車も木製のため老朽化しており、長くは持たない。



庄川美術館・庄川水資料

- ・親水がテーマなのに、水に親しみを感じなかった。もっと見せ方があるのではないか。
- ・高台にあるため、そこへ行く人がおらず、また高台へ行かないと気付かない存在になっている。



駐車場

- ・駐車場が少ない。
- ・美術館の駐車場が分かりにくい、アクセスが悪い。
- ・ちびっこ広場と下段の駐車場との位置関係が悪く、移動が大変。



美術館駐車場へのアクセス道路が狭い



↑どちらの道路も車でのすれ違いが困難

庄川ふれあいプラザ

- ・通路が常時利用できず、公園を移動しづらい。
- ・空調設備がなく、夏場の会合がしづらい。



公園内の移動に施設内を利用する必要あり

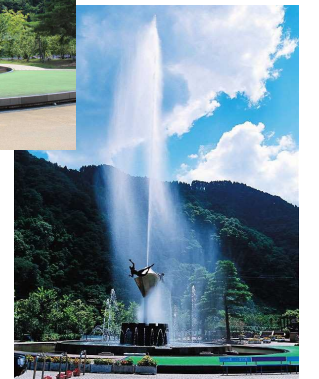
大噴水

- ・公園の入口にシンボルがあるのいいのか、奥にあるのいいのかは検討する必要あり。
- ・故障しているため36mも噴水は上がらない(大規模修繕が必要)。
- ・36mも噴水を上げた場合、風下の民家へ被害が及ぶため、現位置で36mも噴水を上げることは現実的に難しい。
- ・ダム水利用のため衛生面に課題あり。大雨後は水が濁る。



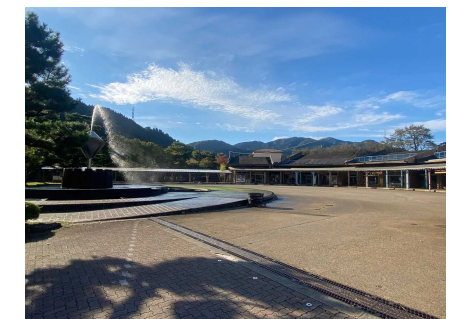
↑現状の噴水状況

噴水が高く → 上がっていたときの様子



お祭り広場

- ・車が通ったり停まったりするので危ない。子供を遊ばせられない。
- ・ふなのの里、特産館の利用を考えると、お祭り広場に車を止めざるを得ない。



庄川特産館

- ・施設が老朽化し水漏れも発生している。
- ・授乳室やおむつ交換台、子供用トイレがない。
- ・空き店舗が多く、閑散としている。何が展示されているかも分からず、入ってみようと思わない。

